

日本共産党市議団の施設訪問

日本共産党町田市議団は、現場の声を聞き市政に反映させるために
市内各施設、学校、保育園、高齢者施設、市民病院などを訪問しました。

学校訪問

防音工事すむ本町田東小学校と 学校図書充実を求める小山田中学校

米軍厚木基地を離着陸する戦闘機の轟音は耐え難いものですが、学校も例外ではありません。騒音被害区域の拡大で、本町田東小学校の防音工事が進んでいます。強化ガラスの窓、エアコン、ダクト、天井などの工事のためにプレハブ校舎を建てて、教室を順に移動しながらの大工事。校長先生から工事の大変さや、防音工事以外、付随する工事は市の負担となることなどを伺いました。完成は来年3月です。

小山田中学校は、23年前のプレハブ校舎の2階が図書室になっています。重みに耐えられないため、他校の半分

程度と蔵書数も少なく、クーラーもないため具合が悪くなった生徒がいたという事です。豊かな知識と意欲、感性を育てるために図書の充実と施設の改善が求められます。



小山田中学校 プレハブ図書室

ひかりの子保育園訪問

みんな大きくなあれ

旧忠生第4小学校の空き教室を、建て替えのため仮園舎にしているひかりの子保育園を訪問しました。

大きな金木犀のある校庭では、「あと三つ寝たら運動会」を控えて子どもたちがマットや跳び箱を使った競技の練習の真っ最中。

園長先生からは、建て替えにかかる費用負担の大変さや、都の公私間格差は正が打ち切られ、保育士さんの人件費削減をせざるを得なくなっていると



仮園舎の保育室

のお話がありました。「命を守り、良い保育をすることが保育の原点。営利目的ではありません」。

元気にお弁当を食べる子どもたち。どの子も健やかに大きくなってほしいものです。

町田市市民病院視察

市民の命をはぐくみ、 命を守る市民病院に

2・3期工事完了とともに、併設された周産期センター、緩和ケア病棟を視察しました。ガンの終末期の患者さんの苦痛を和らげ、一日一日を大切に



周産期医療センター

過ごすことができるようにと配慮された緩和ケア病棟。利用率はまだまだですが、必要な人が安心して利用できるようなれればと思います。周産期医療センターは、南多摩医療圏初のセンター。NICUは6床。手のひらにのるような赤ちゃんが、保育器の中で元気に手足を動かしていました。

市民病院の果たす役割も大きいものがあります。しっかりと東京都の財政支援もほしいところです。効率や採算では測れない大切なものは、命を育み、命を守り、命を送る尊い仕事を担うに足る医師や看護師が充分にいること、医療に誇りを持ってあたるスタッフが充実していること、市民のだれもが安心して受診できる、公立病院の役割を守ることでないでしょうか。

法律相談事例

ちょっと知りたい法律知識

セクハラ

川合きり恵弁護士
(まちだ・さがみ総合法律事務所)

職場に、「女には仕事を任せられない」「坊や」などと言う上司や同僚はいませんか。

職場におけるセクシュアル・ハラスメント、いわゆるセクハラとは、「相手の意に反する不快な性的言動」をいいます。「不快な性的言動」に当たるか否かの判断は、受けとる人が重要な基準となります。

強制わいせつなど刑法上犯罪に当たる行為がセクハラにあたるのは当然ですが、スリサイズを聞く、性的冗談を言うなどの性的関心に基づく発言や、「男のくせに根性がない」「お嬢さん」など性別により差別しよつとする意識等に基づく発言、食事・デート等への執拗な誘いなど性的な関心に基づく行動もセクハラになります。男性も対象となります。

雇い主には、労働者が職場でセクハラを受けることがないよう、雇用管理上必要な措置を取ることが義務づけられています。セクハラを受けた場合には泣き寝入りせず、相談しましょう。

無料法律相談・お気軽にご相談ください

12月 9日(水)

12月24日(木)

2010年 1月13日(水)

1月27日(水)

場所未定

市役所5階共産党議員控室
2時～5時

必ず事前に予約のご連絡を各議員、
または723-6312をお願いします。